

交流センターだより

おおとし



題名：りす
お名前：浜野内 彩心さん

No.141
令和2年
12月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 13,970 世帯数 6,780
開館時間 8時30分～17時15分（行政窓口） TEL 922-2461 令和2年11月1日現在

アロマワックスサシェ作り体験講座

アロマの香りと、かわいいお花を使ってアロマワックスサシェ作りを体験してみませんか？お部屋に飾るだけで、癒しの空間に♪
ぜひご参加ください♪

日時：令和2年12月13日（日）
10:00～11:30

場所：大歳地域交流センター 講座室

講師：林 奈穂美さん

（路傍塾講師）

定員：10名程度

参加費：500円

【申し込み・問い合わせ】

大歳地域交流センター
地域担当まで

（☎083-922-4035）

※12月1日（火）から受付開始



菜の花絵画展の様子を紹介します♪

11月13日～11月17日の5日間、フジグラン山口店にて、センター定期利用団体の「菜の花絵画クラブ」の皆さんが展示会を行いました。多くの方に来ていただき、大変充実した活動発表ができたようです。

活動に興味を持った方は、ぜひ大歳地域交流センター地域担当（☎083-922-4035）までお問い合わせくださいね♪



はつらつクラブ 大人の居場所からのお知らせ

来年の年賀状は絵手紙に挑戦してみませんか！？右田先生に指導していただき、オリジナルの年賀状を作ります。仕上げに消しゴムで自分の印鑑も作ります。

初めての方も大歓迎です。是非ご参加ください♪

日時：12月19日（土）
13:30～15:30

場所：大歳地域交流センター
2階 講堂

指導者：右田朱実 先生

持参物：季節の野菜や果物など書きたい材料

参加費：100円

問い合わせ：大人の居場所 代表 大窪
（TEL 080-2904-8193）

※必要な道具は主催者で準備予定。



今から考える「終活講座」参加者募集！

「いつまでも元気で長生きに！」
...でも、いつかは終わりが来るというもの。
そんなときの為に、「終活」の基本的な考え方や、計画の立て方を分かりやすく説明していただきます。

前向きに、今から取り組んでみませんか？

日時：令和2年12月23日（水）

14:00～15:30

場所：大歳地域交流センター 講座室

定員：20名程度（先着順）

講師：岡本 浩司さん（柳井地区消費生活センター）

参加費：無料

持参物：筆記用具

【申し込み・問い合わせ】

大歳地域交流センター地域担当まで
（☎083-922-4035）

※12月1日（火）から受付開始

ぜひ聞いてみたい事、
疑問に思っている事
等、事前に考えていた
だき、ご参加ください。



山口市保健センターから「健康チェック・健康相談会」のお知らせ

～血管の老化を防ぐために必要なことは？～

健康づくりに関心のある方、健康診査結果についてご相談がある方などを対象に、健康チェック・健康相談会を行います。お申込や参加費は不要です。ぜひご参加ください♪

受付時間内に会場にお越しください。

日時：令和3年1月7日（木）（※受付10:00～11:00）

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

内容：血管年齢測定、体組成測定、保健師・管理栄養士との健康相談

動脈硬化予防についての展示、鴻南地域包括支援センターの介護相談

持参物：各種健康診査結果（お持ちの方）

体組成測定をご希望の方は裸足になれる服装をしてお越しください。

問い合わせ：山口市保健センター 健康増進課

（TEL 083-921-2666）

■ご利用にあたっての注意点■

- ・マスク着用での参加をお願いいたします。
- ・体調の悪い方は参加をご遠慮ください。



子育てマナビ『子どもを伸ばす大人の工夫』参加者募集♪

「上手なほめ方」「上手なしかり方」など、応用行動分析学をもとに、実践しやすい言葉かけの方法を、日常の具体例を踏まえて講義をしていただきます。

下記どちらかの回をお選びの上、お申し込みください。（講座の内容は同じです。）

【第1回】

日時：令和3年1月27日（水）

10:00～12:00

場所：平川地域交流センター

【対象】子育て中の保護者（0歳～中学3年生）
各回それぞれ30人程度（抽選）

【託児】あります

【講師】松岡 勝彦 氏（山口大学教育学部教授）

【持参品】筆記用具

【参加費】無料

【申込受付】令和2年12月4日（金）～令和3年1月8日（金）

※抽選結果を令和3年1月19日（火）までにご連絡いたします。

【お申し込み方法】

①山口市ウェブサイトから申込

②電話（☎083-934-2866）



詳しくはこちら

《お問い合わせ》山口市教育委員会 社会教育課（☎083-934-2866）

食推さんおすすめレシピおパッと味噌汁、チャチャと一品。笑顔でいただきま〜す！！

簡単にできるいりこ出汁の作り方（4人分）

前日の夜に、鍋に水（600ml）を入れ、いりこ（10尾）を浸しておく。夏場は冷蔵庫に入れておきましょう。翌朝、鍋を火にかけ沸騰したら2～3分煮て、いりこを取り出す。

出汁ができたなら...

【簡単なみそ汁の作り方（4人分）】

- ①鍋にだし汁（600ml）を入れる。
- ②好みの具を入れて煮立たせる。
- ③みそ汁（大さじ1）を溶き入れて出来上がり。



【簡単な野菜スープの作り方（4人分）】

- ①お好みの野菜を切る。
- ②鍋に水（600ml）とコンソメ1個と①の野菜を入れ、塩こしょうで味を調えて出来上がり。

【鮭ときのこのバター蒸し】

～フライパンひとつで魚と野菜料理。洗い物も少なく簡単！～

《材料（4人分）》

- ・もやし 1袋
- ・鮭 4切れ
- ・えのき 1袋
- ・しめじ 1袋
- ・バター 10g
- ・塩・こしょう 少々



【作り方】

- ①フライパンにクッキングシートを敷き、もやしを広げて、鮭、えのき、しめじを乗せ、塩こしょうし、バターを乗せる。
- ②フライパンに蓋をして蒸し焼きにする。

※やまぐち朝ごはんナビより

大歳自治振興会子ども部会からのお知らせ

★輪飾り（しめ縄）作り★

地域の人と一緒に、自分だけのオリジナル
“輪飾り（しめ縄）”を作ってみませんか？

日 時：令和2年12月20日（日）

①午前の部 10:00～12:00

②午後の部 13:30～15:30

場 所：大歳地域交流センター 2階 講堂

内 容：オリジナルしめ縄づくり

参加費：無料（事前申し込みが必要）

定 員：各部25名程度（先着順）

申 込：大歳自治振興会 事務局

（TEL 083-920-1700）

※小学生以下は、保護者同伴でご参加ください。

※12月1日（火）受付開始、定員になり次第
締切。

※原則、午前の部から申込受付をし、25人を
超えた時点で午後の部へ振分を行います。



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、手洗・消毒、検温・体調チェック、マスク着用、ソーシャルディ
スタンスの確保、cocoa（接触確認）アプリ活用などのご協力をお願いいたします。

しめ縄づくりは換気を行いますので、厚着をしてお越しください。

☆ と ん と 焼 き ☆

輪飾り（しめ縄）、正月飾り、書初めなどを
燃やし、1年間の無病息災を祈る「とんと焼き」
を地域行事として開催します。

事前申し込みは不要で、参加費無料ですので
気軽にご参加ください♪

日 時：令和3年1月11日（月・祝）

10:00～15:00

場 所：朝田神社

問い合わせ：大歳自治振興会事務局

（TEL 083-920-1700）

※しめ縄、正月飾りなどの針金・金具類・橙（み
かん）などは燃えませんので、必ず外して持
参してください。



❀山口総合支援学校の皆さんが花壇整備をしてくれました❀

11月19日（木）山口総合支援学校の皆さんが、地域交流センター駐車場花壇の植え替えをしてくだ
さいました♪ビオラやパンジーなどの季節の花がたくさん！とてもきれいになりました。

センターにお立ち寄りの際は、ぜひ花壇にも注目してくださいね♪



「やまそう美術館」
もリニューアル！
中学部生徒の皆さんの
作品を展示してい
ますよ♪



🎉大歳地区 12月 🎉 行事予定 🎉

3日（木）燃やせないごみの日

4日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）

5日（土）～6日（日）

第35回大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会

6日（日）交流センター大掃除（8:00～9:00）

9日（水）母子相談（10:00～12:00）

13日（日）アロマワックスサシェ作り講座（10:00～11:30）

14日（月）金属・小型家電製品の日

16日（水）びん・缶の日

17日（木）大歳体育振興会理事会（19:00～20:00）

18日（金）パソコン相談（10:00～12:00）

19日（土）大人の居場所（13:30～15:30）

20日（日）しめ縄づくり（10:00～12:00、13:30～15:30）

21日（月）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）

23日（水）終活講座（14:00～15:00）

24日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※木曜日はプラ容器包装分別収集



大歳と災害 その4 坂道の上に架かる橋 吉敷川改修

大歳の吉敷川に架かる橋には大きな特徴があります。上流から二斗代橋、千代丸橋、黒川橋、供有橋、大歳橋といずれも堤防が高く、その上に架かる橋は坂になった道路を登っていかねばなりません。子どもの頃は「なんて面倒くさくて疲れる橋なんだ」と坂道を登りながら思っていました。しかし、少々水が増えても、周辺の小さな川に架かる橋と違って、橋げたに水がぶつかって橋の上を水が走ることほとんどなく、安心して渡れる橋であったこともたしかです。

大歳の大洪水の原因となる二つの川のうち樫野川は明治の大改修（実際は吉敷川の付け替えが中心）で、一定の治水対策が終わりました。残る改修対象は吉敷川です。大歳橋から上流の吉敷川改修は昭和9（1934）年に起工し、同11（1936）年に完工しました。吉敷川は中流域が水無川という特徴をもち、農業用水路がつかれないという弱点を持ちますが、逆に渡河が簡単で、川が交通の障害にならないという利便性をもっていました。しかし、水なし状態が終わる吉敷と大歳の境界一帯で、湯田方面から流れ込む前田川が錦川に合流し、更に錦川が吉敷川に合流するため吉敷川の水量は大きく増大し、洪水の危険性が高くなっていました。水なし状態の終了地点から大歳橋地点まで、吉敷川は平均25m拡幅され、堤防も高くなりました。同時に上述の大歳の橋もコンクリート橋にかけ替えられます。最初に述べた坂の上の橋は、こうした洪水対策の苦心の成果だったのです。

昭和4（1929）年、ニューヨークのウォール街から始まった世界大恐慌は世界を不況のどん底に突き落とします。国家は経済に介入しないという自由主義の原則では対処できない事態が広がり、第1次大戦の総動員体制が思い出されます。戦争という非常時への対応と限定されていた国家の経済への介入がニューディールやナチスの経済政策として実施されていきます。方向性を全く逆にした、こうした国家の経済介入が一定の成功を収めたのを見て、日本でも、やっと失業対策として実施されます。吉敷川の改修はこうした事業の一環でした。総工費20万862円のうち、国が10万円、県が8万5千円、村が1万5千円、寄付が862円という内訳でした。明治20（1887）年の樫野川改修工事は総工費10万で国が3万3千円、県が2万円、10か村費3千円で、残り4万4千円は村民の寄付負担であったことと比べれば、国家（国県村などの公的機関）が経済に介入するということは村民の自己負担分を大きく減らしたことがわかります。福祉や教育などより、土木工事に偏った日本型公共事業の最初の例となりました。（なお、金額は施工当時の額。この間、物価は大幅に上昇しているので、吉敷川改修の方が経費がかかった訳ではありません）

こうして2回の大改修工事で大歳の大水害の危険は回避されたと考えられてきましたが、近年の気候変動に伴う集中豪雨の危険を考えれば、3回目の大改修が必要になっているのかどうか。そういうレベルで洪水対策の歴史を振り返る必要性が出てきているのではないのでしょうか。（大歳史談会、文責：武波義明）



供有橋、坂道の上の橋



錦川、前田川と吉敷川の合流地点